

成果は上げられたのか 議会の判断は！

決算特別委員会4日目は、討議事項を三つ抽出し、二つの内容について総務産業建設分野、厚生文教分野の分科会形式で討議を行い、その

後一つの内容について全委員で討議を行いました。討議終了後、両座長より討議結果について報告があり、全体で合意形成を図りました。



討議の様子

分科会（総務産業建設分野）

長期総合計画の基本目標6

「便利で快適に暮らせるまち」

施策分野1 計画的なまちづくりの推進

分科会での主な意見

緊急輸送道路における無電柱化の推進では、「役場通り」の詳細設計が示されるなど計画的に進捗しているものと評価できる。都市計画道路の整備促進では、(仮称) No.6 駅とつながる都市計画道路3・5・23号線は、旧青梅街道までの早期実現に向けて動いていることは評価できる。

多摩都市モノレール沿線のまちづくり（検討業務委託）および立地適正化計画策定は順調に進捗しているが、住民の意見をもっと取り入れ、周知や情報共有をしてほしい。

殿ヶ谷土地区画整理事業の支援では、早期に事業の終了を願う。

下澤 委員(座長)、原 委員、
榎本 委員、古宮 委員、井上 委員、
奥泉 委員



OHAKO
OPENING 内覧会

箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクトの推進では、東京都の補助金を活用して、町民をメンバーに加えたチームで公有地の活用について話し合い、それなりの成果を出したと思う。あとは、コーディネートをもう少しやってほしかった。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

分科会（厚生文教分野）

長期総合計画の基本目標2

子どもたちがのびのびと育つまち

施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

分科会での主な意見

〇不登校対策について

不登校の要因として、教員の指導を起因とするものがあると認められる。「みずほあったか先生」の在り方について、教師への指導が必要ではないか。

教育支援室「いびき」は、学習にこだわることなく、居場所としての役割をさらに強化してはどうか。

基礎的な部分でつまづいてしまった子は、その後は分らない授業を受けることになる。授業についていけない子どもたちへの対応が必要なのではないか。

不登校児童・生徒が増加傾向にあり、学校と家庭をつなぐ支援員が各校1名の配置では負担が大きすぎる。地域の多くの方々に関わってもらう必要があるのでは。

下野 委員(座長)、香取 委員、
森 委員、大坪 委員、大和 委員、
高橋 委員、川島 委員



支援員同士の交流により、情報の共有も必要では。支援員の情報共有をする上でのハブとなるスーパーバイザーの設置も考えてはどうか。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

全委員による討議

長期総合計画の基本目標5

環境にやさしい安全・安心なまち

施策分野1 危機管理・防災・災害対策

討議での主な意見

〇5年度の総合防災訓練について

町が考える防災訓練の進め方と町民や自主防災組織の受け止め方にかい離があり、現場ではかなり混乱が生じていた。

リーダーが不在だった。町内の防災士を含め、リーダーシップを発揮すべき人が誰なのかをはっきりとさせるべき。

町内会単位でも個別に防災訓練が行われていることは評価できるが、それが各地域に波及していないため、啓発に力を入れていくべきではないか。

防災意識の向上に結びつけられたのか疑問。

子どもの参加が非常に少ないので、子どもも参加ができるような開催方法を検討していかなくてはいいけない。

〇道路整備について

生活道路、狭あい道路の改善や効果的な成果があまり見られなかった。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。



5年度に実施した
総合防災訓練